

## 第 40 回歴史地震研究会小田原大会のお知らせ（第 2 報）

### 1. 日程

2023 年 9 月 1 日（金）～3 日（日）の 3 日間

1 日：研究会（口頭発表・ポスター発表）・表彰式・懇親会

2 日：研究会（口頭発表・ポスター発表）・総会

3 日：巡検（午前）・公開講演会（13:30 開場、講演 14:00～16:45）

### 2. 研究会および公開講演会の開催場所

小田原三の丸ホール 小ホール

神奈川県小田原市本町 1 丁目 7-50 JR 小田原駅東口から徒歩 13 分

<https://ooo-hall.jp/>（小田原三の丸ホール）

<https://ooo-hall.jp/access/>（アクセス・来館情報）

### 3. 参加費

各行事の参加費は以下のとおりです。

- ・研究会：会員・非会員とも 2,000 円
- ・懇親会：一般 7,000 円 学生 4,000 円
- ・巡検：2,000 円（巡検中の飲食はありません。）
- ・公開講演会：会員・非会員とも無料

参加費は全て研究会会場に設置する受付にてお支払いください。支払いは現金のみで、クレジットカードや電子マネー等には対応しておりません。

### 4. 研究会講演プログラム

本文書末に掲載します。

### 5. 口頭発表要領

- ・発表用には発表ファイルをまとめた共用パソコンを用意します。機器は Mac のみ、ソフトは PowerPoint と Acrobat Reader を準備します。PowerPoint でのレイアウトの崩れが心配な方は予備として pdf ファイルの持参をお勧めします。
- ・共用パソコンへのファイルの集約に際して、各自 USB メモリをご持参願います。事前に送りたい方は行事委員会（rekishi2023@histeq.jp）宛にご相談ください。
- ・発表時間は 12 分、質疑応答が 3 分です。

### 6. ポスター発表要領

- ・A0 サイズが基本で横長を推奨いたします。縦長でもかまいません。
- ・建物の壁に直接ピンで留めることとなりますので、できれば 1 枚紙で仕上げていただくようご協力をお願いいたします。但し、1 枚紙にまとめていただくのが必須ではありません。

・掲示に際してはピンのみ使用可能でテープ類は使用禁止です。ピンは行事委員会側で用意いたします。

・発表日の如何によらず、初日の始まりから2日目終了までポスターを掲示可能です。参加できる日が限られる等の理由で、ご自身の発表日だけの掲示でもかまいません。

## 7. 公開講演会

テーマ：「関東地震100年：日本史上最悪の地震災害の実態と最新研究」

講演者：

○ 武村雅之氏（名古屋大学減災連携研究センター）「関東大震災の真実を求めて：帝都復興事業と現在の東京」

○ 吉田律人氏（横浜都市発展記念館）「横浜市民の関東大震災一被災者の体験記を中心に」

○ 穴倉正展氏（産業技術総合研究所）「くり返す関東地震：過去6千年の歴史」

※本大会に参加される方は公開講演会の参加申込は不要です。

## 8. 巡検

鎌倉駅集合（8時30分）～材木座散策（津波・地震の伝承地巡り）～鎌倉市国宝館の特別展示解説～鎌倉駅解散（12時頃を予定）

※巡検先の鎌倉駅集合です。くれぐれもご注意願います。詳細な集合地点は大会会場でご案内します。

※公開講演会会場へ移動・聴講することが可能となるよう解散時刻を設定していますが、渋滞や鉄道の遅延などもあり得ますので、講演会開始前の到着は保証しかねますことをご了承ください。昼食は各自で解散後をお願いいたします。休日の鎌倉駅周辺は特に解散時には相当な混雑が予想されます。熱中症対策として水分を各自ご用意ください。

## 9. その他

・新型コロナウイルスのまん延状況などを考慮して、全部または一部の予定の変更やキャンセルが生じる場合があります。

・小田原駅周辺および東海道線、小田急線、箱根登山線、大雄山線の沿線にはホテルが各種ありますので各自ご予約ください。

・大会の情報は研究会ウェブサイトの「研究会開催情報」

(<https://www.histeq.jp/kenkyukai.html>) 上で随時更新致します。

・問い合わせ先：歴史地震研究会行事委員会（[rekishi2023@histeq.jp](mailto:rekishi2023@histeq.jp)）

## 第40回歴史地震研究会（小田原大会）講演プログラム

開催期間：2023年9月1日～9月3日

場所：小田原三の丸ホール 小ホール（神奈川県小田原市本町1丁目7-50）

9月1日（金）

研究発表会（第1日）

口頭発表（午前の部）10:00～12:30

- O-01 大正6年の高潮と1923年大正関東地震津波－東京湾要塞地帯における災害資料の発掘－  
蟹江 由紀・蟹江 康光
- O-02 100年前「米神で何が起こったのか」  
今村 隆正
- O-03 秋田から見た1923年関東地震  
水田 敏彦・鏡味 洋史
- O-04 関東大震災と国際支援－国際協調による災害支援  
阪本 真由美
- O-05 関東大震災と東京大学所蔵史料  
杉森 玲子

休憩(15分程度)

- O-06 震災予防調査会創設における物理学者田中館愛橘の「地震学研究」観  
菱木 風花
- O-07 歴史地震研究者の墓をたずねて  
林 能成
- O-08 紀元六世紀オーストラリア・カーペンタリア湾に落下した隕石による巨大津波  
都司 嘉宣
- O-09 『日光社家御番所日記』に記録された有感地震の発生時刻：有感記録の完全性ならびに地震活動の復元についての検討  
石辺 岳男・水野 嶺・松浦 律子・佐竹 健治

昼休み 12:30～14:00

ポスター発表（その1）14:00～15:30

口頭発表（午後の部）15:30～17:00

- O-10 大分県で進む災害データアーカイブの取り組み  
篠田 海遥
- O-11 1596年豊後地震における日出の津波高  
松崎 伸一・平井 義人・日名子 健二
- O-12 近世南海地震時の土佐室津港における水深変化量を記録した久保野家資料の史料論的考察  
水松 啓太
- O-13 宝永地震による地殻変動と津波痕跡の再整理  
今井 健太郎・都司 嘉宣・楠本 聡・堀 高峰
- O-14 1830年文政京都地震における京都での被害状況と地震像  
西山 昭仁・原田 智也

- O-15 寺院被害から歴史地震の地震動強さを推定する試み—安政東海地震を事例として  
都築 充雄

表彰式 17:00～17:10

懇親会 18:00～20:00

9月2日(土)

研究発表会(第2日)

口頭発表(午前の部) 9:30～12:00

- O-16 伊勢宗瑞(北条早雲)の小田原城攻略は本当に明応四年(1495)大津波に乗じたのか?  
石橋 克彦
- O-17 斎藤月岑作の安政江戸地震の火災写生図に関して  
松浦 律子・中村 操
- O-18 1855年安政江戸地震の江戸市中の詳細震度分布  
中村 操
- O-19 嘉永・安政期の災害と箱根宿  
岡崎 佑也
- O-20 嘉永小田原地震による小田原城被害の実相について—宮内公文書館所蔵「小田原城  
絵図」から  
盆野 行輝

休憩(15分程度)

- O-21 歴史上のM8級関東地震の発生履歴と将来の発生確率  
佐竹 健治・石橋 克彦
- O-22 鎌倉・由比ヶ浜の斜面海浜礫(層)—津波局所高遡上の可能性—  
平川 一臣
- O-23 コア試料の14C年代測定に基づく元禄地震の一つ前の関東地震の再検討  
藤原 治・Obrochta Stephen
- O-24 津波痕跡高から推定される1498年明応東海地震の初期津波波源モデル  
楠本 聡・今井 健太郎・堀 高峰

総会 12:00～13:00

昼休み

ポスター発表(その2) 14:00～15:45

口頭発表(午後の部) 15:45～17:00

- O-25 文書と地層に記録された北海道胆振地方における17-19世紀の津波と噴火  
西村 裕一・高清水 康博
- O-26 沖積平野下の埋没樹は古代越後大津波の遺物か  
河内 一男
- O-27 1935年静岡地震直後の踏査報告の足跡をたどって  
鏡味 洋史・水田 敏彦
- O-28 『新選和漢合図』にみる地震・噴火  
片桐 昭彦
- O-29 宝永二年十二月五日(1706/1/19)の出羽(羽前)地震について  
佐々木 淳

ポスター発表（その1）9月1日開催

- P-01 『日本災異志』に引用された『鎌倉大日記』の底本の検討—『日本災異志』未定稿及び関連史料の調査—  
服部 健太郎
- P-02 1293年正応地震の140年後に1433年永享関東地震が再来した可能性  
石橋 克彦
- P-03 埼玉県所沢市における企画展『関東大震災百年』の報告  
徳田 光希・篠田 海遥・荒井 賢一
- P-04 1923年関東地震の木造住家被害データのデジタル化  
石瀬 素子・中村 亮一・諸井 孝文
- P-05 関東大震災における洋上避難の事例について  
中川 喜弘
- P-06 千葉県勝浦市周辺における1605年慶長津波の状況  
行谷 佑一
- P-07 東京湾沿岸域のメタンガス層に関する考察  
鶴 哲郎・野 徹雄

ポスター発表（その2）9月2日開催

- P-08 アンケート調査に基づく1891年濃尾地震による静岡県の液状化現象  
青島 晃
- P-09 善光寺大本願にまつわる善光寺地震（1847年）のモニュメント  
清水 美帆
- P-10 安政東海地震における静岡県での火災被害  
板東 大生・馬場 俊孝
- P-11 東海地域における南海トラフ沿いの歴史地震津波に関する現地調査結果について（その5）  
久永 哲也・内田 篤貴・北川 穂乃香・黒川 知萌巳・佐々木 哲朗・小川 典芳・武村 雅之・都築 充雄
- P-12 愛媛県南予地域における津波の被害・浸水域・高さとの地名の関連～津波防災に対する地名の有効性の考察～  
上村 勇輔
- P-13 宮崎県沿岸における津波浸水範囲の比較 —1662年日向灘地震と1707年宝永地震について—  
伊尾木 圭衣・山下 裕亮・加瀬 善洋
- P-14 文献調査による日本への歴史遠地津波の真偽の検証  
林 豊
- P-15 みんなで翻刻「賀茂社関係文書翻刻プロジェクト」から得られた地震記事  
加納 靖之・山本 宗尚・橋本 雄太・青池 亨・中西 一郎・大邑 潤三・濱野 未来

9月3日(日)

公開講演会(第3日)

公開講演会「関東地震100年:日本史上最悪の地震災害の実態と最新研究

14:00~16:45

- 武村雅之氏(名古屋大学減災連携研究センター)  
「関東大震災の真実を求めて:帝都復興事業と現在の東京」
- 吉田律人氏(横浜都市発展記念館)「横浜市民の関東大震災一被災者の体験記を中心に」
- 宍倉正展氏(産業技術総合研究所)「くり返す関東地震:過去6千年の歴史」

巡検

鎌倉巡検 8:30~12:00

鎌倉駅集合~材木座散策(津波・地震の伝承地巡り)~

鎌倉市国宝館の特別展示解説~鎌倉駅解散